

主体的な学びを実現させる授業の創造
～「むかいひがし」の対話を活かして～

【教科横断的なカリキュラムマネジメント】

課題を克服するために効果的な教科等を関連させる。

【つかむ】 課題把握・つかむ

- ・ 前時の振り返りを共有し、新たな問いを作る
- ・ 与えられている情報と問われている内容を把握する
- ・ 絵、グラフ、表など様々な資料の種類に出会う
- ・ 絵、図、数直線に表して理解する
- ・ 複数の資料からの情報や問いの読み取る
- ・ 複数の資料から必要な情報を取捨選択する

【考える】 自力解決

- ・ 既習を活用しようとする
- ・ 言葉と式、図を関連付けながら説明、表現する
- ・ 複数の考えや説明方法を見つける
- ・ 考え方のよさを見つける

【深める】 協働的に学ぶ

- ・ 友達の考えを聞いて、見通しをもつ
- ・ 友達に分からないことを尋ねる
- ・ 友達の分からないことを捉えて教える、相談する
- ・ 自分と友達との考えを比較、分類、関連付けて話し合う
- ・ 友達の考えや説明を聞いたり、話し合ったりするなかで、よりよい考えや説明の方法にたどり着く

「むかいひがし」を活かして

【まとめる・ふりかえる】 まとめ・振り返り

- ・ 評価問題で確かめ、納得する
- ・ 学びを捉えなおす（算数用語を活用し、自分の言葉で）
- ・ 自己の変容に気付く（自己有用感・自己肯定感の向上）
- ・ 資質・能力の向上に気付く（教科の枠を超えた学びを得る）
- ・ 新たな課題の発見（知的好奇心の喚起、学習意欲の継続）

多面的な振り返りの視点

主体的・対話的な学び「むかいひがし」